



がんばりすぎず、自分らしく働く

# 60歳からのマイ・ジョブ

令和3年度 高齢者活躍人材確保育成事業 | 厚生労働省委託事業

## 放課後児童クラブ補助員講習 受講者募集

応募締切



6月22日(火) 必着

受講料及びテキスト代：無料

講習期間	令和3年7月6日(火)～7月7日(水)
講習会場	垂水市市民館〈垂水市旭町61-2〉
募集定員	15名
講習時間	10:00～16:00 (5時間/日)
講習内容	1. 放課後児童クラブとは 2. 育成支援の内容(役割と職務) 3. 放課後児童クラブの一日の流れ 4. 遊びから見た子どもの発達 5. 放課後児童クラブの生活のなかでの安全 6. 楽しい絵本の読み聞かせ
受講対象者	●60歳以上の方で、シルバー人材センターの新規会員として就業を目指す方。(令和4年3月31日までに60歳になる方も受講可能です。) (趣味や教養のための受講申し込みはできません。) ●現在、シルバー会員であるが、新たな分野で就業を希望している方。
受講決定	●申込締切日後、書類選考のうえ、鹿児島県シルバー人材センター連合会から受講可否の通知を郵送いたします。 ●諸般の事情により、講習を中止する場合があります。



※講習終了時にシルバー人材センターの入会案内があります。

### 公益社団法人 鹿児島県シルバー人材センター連合会

〒890-0053 鹿児島市中央町9番地1 鹿児島中央第一生命ビル8階  
電話：099-206-5422 FAX：099-206-5410

### 公益社団法人 垂水市シルバー人材センター

〒891-2126 垂水市南松原町42番地  
電話：0994-32-9781 FAX：0994-32-9782

受講申し込み  
お問い合わせは  
右記まで

#### 第13回

### たるみず歴史・文化散歩

# 『垂水史談會報』 『垂城史談』

## 垂水史談會報

『垂水史談會報』(以下、會報)は垂水の歴史・文化などの文章がガリ版刷りで書かれ、垂水史談会の会員によって発行された機関誌です。創刊号の発行は昭和二(一九二七)年八月下旬。会員は宮原景豊(歌人)、前田清信(校長)、樺山源八(校長)、前田嘉吉(校長)、川上政治(校長)、杉之尾平一(校長)、伊地知三千丸(警部)、山口榮之(専売官吏)のいわゆる垂水麓の人々、八名で発足しました。『會報』は年に約二回発行され、昭和六(一九三一)年には会員は三十二名となりました。それが記されています。

## 垂城史談

『垂城史談』(以下、史談)は昭和六(一九三一)年三月から発行され、昭和九(一九三四)年十二月の第九号まで続きました。おそらく『會報』を『史談』へ名称変更されたと考えられます。しかし、その後発行は中断され、第十号が発行されたのは戦後十年以上を経た昭和三十一年(一九五六)年でした。『史談』は以後の昭和三十七(一九六〇)年三月の第十四号まで合本として残されており、その後の発行は不明ですが、貴重な写真が残されています。



▲歓迎の宴での集合写真(下段右から5人目が和田秀豊)

右の写真は昭和十一(一九三六)年に和田秀豊(洋画家・和田英作の父)が、東京在住ながら史談会顧問として在籍していたことから垂水に帰った時の集合写真です。一緒に写るのはほとんどが当時の史談会員です。

## 貴重な道案内人

『會報』と『史談』が貴重である理由は、垂水麓の重要な歴史関係資料や文学作品、民俗資料等が多く記録されていることです。記録には垂水麓の名家の家系図をはじめ、『浪の藻屑』などの和歌集、第十代



▲垂水市文化会館に保管されている『垂水史談會報』(右)と『垂城史談』(左)

(文化財保護審議員・瀬角龍平)